



学校だより

子どもの未来をみんなで創る

令和4年 9月号

神奈川県立相模原中央支援学校

2学期が始まりました。例年ならば遠足や校外学習、宿泊学習、修学旅行等の校外活動が一番多く設定される時期です。

けれども、9月1日に配付した「2学期の教育活動について（お願い）」のプリントでお知らせしました通り、修学旅行以外の校外活動については中止とさせていただくことになりました。

お知らせの中でお伝えしている通り休職、辞職者の代替候補者が見つからず欠員状態が続いていることに加えて、新型コロナウイルス感染症に係る自宅療養、待機者が常態化しているため、安全な実施が困難となっていることが、今回の判断の理由となります。

楽しみにしていた子どもたちや保護者の皆様、準備を進めてきた先生方にも申し訳ないと思いつながりプリントを配付させていただきました。

配付した翌日には、何人かの保護者の方から御意見をいただきました。

どの方も学校の状況を理解していただけているとわかりました。さらに、保護者の協力について、できることはないかと申し出ていただいた方も複数いらっしゃり、とてもうれしく、心強く思いました。今後の状況にもよりますが、今年まだ一度も校外へ行くことができていない児童・生徒の活動について、今後再計画をしていきたいと考えておりますので、御協力のほどよろしくお願ひします。

副校長 窪田

みんなで創る授業～子どもの姿から確かな学びへつなげる授業改善～

2学期が始まり疲れ気味の様子は見られませんか？朝の駐車場では、スクールバスや自家用車、徒歩で登校してくる子ども達の姿をみながら今日も穏やかな一日でありますようにと思い、帰りの駐車場では、放デイの職員さんと笑顔で手を振る姿を見送ってホッとする一瞬。そして、放課後の教員は、教室の掃除とコロナで加わった消毒作業、諸々の会議や授業の準備などなど・・・その中に研究日があります。

今年度は『みんなで創る授業』を研究テーマに、授業前の「ベースミーティング」と授業後の「授業検討会」を設定し、指導集団を中心とした授業検討チームによる授業づくりシステムがスタートしました。30分という限られた時間を有意義に、みんなで意見やアイデアを出し合う、聴き合う、学び合いの場になることがねらいです。このシステムで取り組む授業の数は限られていますが、その他にも一人1回の授業公開を通して、自分の授業に向き合い見直す機会として授業改善を進めています。

また、全体研修会や主に本校の教員を講師とした「さがちゅうゼミ」など各種の研修会を通して専門性の向上を目指し、子どもたちのために楽しい実践に取り組んでいきます。

夏の研修会には、保護者のみなさまにも参加していただきありがとうございました。1学期から夏休みまでの研修会等の取り組みの様子につきましては、「研究だより」（9月下旬発行）を御覧ください。 研究研修グループ 友永



『ベースミーティングで
アイデアを出し合っ！』